

教育委員会（ 4月 ）会議録						
招集年月日	令和 3年 4月28日（水）午後 3時15分					
招集の場所	白馬村役場 2階 庁議室					
開閉会の日時 及び宣言	開会	令和 3年 4月28日（水）午後 3時15分				
	閉会	令和 3年 4月28日（水）午後 4時20分				
出席委員	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
	教育長	平林 豊	委員	伊藤 公一	委員	田口 令子
	教育長職務代理者	幅下 守	委員	西澤みどり		
事務局	生涯学習課長	松澤 宏和	教育課長	横川 辰彦	子育て支援課長	下川 浩毅
	公民館長	横川 秀明	教育指導員	塩島 学	教育課長補佐 兼給食保健係長	堤 則昭
	生涯学習係長	渡邊 宏太	教育係長	中村 由加		

会議の要旨

1 開会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和3年3月定例会の会議録について

意見を求めたが特に発言はなく、承認された。

3 報告

○教育長

9日に第1回区長会議が開催された。

12日に図書館等複合施設に関する住民説明会を行った。参加者は約50名。

13日に長野県町村教育長会代議員会が、白馬村ウイング21で開催された。今年度、白馬村で開催予定の研修総会について協議をしている。

15日に白馬村体育協会の総会があり、体育協会からスポーツ協会に名称変更となった。規約の改正により各地区の体協委員は廃止となっている。また、役員は、会長に山岸忠氏、副会長に松澤忠明氏と丸山則子氏が承認されている。

17日に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された。これにより、しろま保育園の児童が濃厚接触者となったため、19日月曜日休園にして消毒を行い、翌日から通常保育をしている。なお、家族の検査結果は陰性だった。

19日に市町村教育委員会連絡会が、Zoomで行われた。今年度、木曾・安曇野・北安担当の主幹指導主事が、石川氏から古野氏にかわっている。学校訪問は、6月3日（木）の午前中白馬南小、7月20日（火）の午前中白馬中学、午後白馬北小を予定しているので、出席されたい。

22日に17日に確認された陽性者の同僚が再検査したところ、陽性となり、北小児童が濃厚接触者となったが、感染リスクが少ないということから、通常に授業を行っている。なお、家族の検査結果は陰性だった。

24日に第30回長野県市町村対抗駅伝及び第16回市町村対抗小学生駅伝が、松本で開催された。新型コロナウイルス感染症の影響で36市町村の出場であったが、総合で18位（村の部2位）、小学生駅伝が総合で25位（村の部3位）と優秀な成績を収めた。

26日に安曇野・大北地域の高等学校を考える合同部会第2回の会議が開催された。今回は、須坂創成高校、佐久平総合技術高校、飯田 OIDE 長姫高校の取り組みについて、各学校長より説明があった。また、活力ある専門高校の学びと総合技術高校の必要性について意見交換を行っている。午後は、令和3年度北アルプス学校間連携連絡協議会総会が開催され、事務室長から2年度の活動報告と3年度の事業計画についての説明があった。

○教育課長報告

4月6日に村内の学校の入学式が行われた。各校ともに会場への入場者数の制限、時間の短縮、換気を行い、校歌もCDを流す等、感染症対策に工夫を凝らし実施された。

また、3校学校運営計画については、本日資料が配られたが、各学校長から説明があったとおり。

新年度となり各種委員会も活動を始めている。中学と南小の学校運営協議会は4月26日に開催され、本日は北小の学校運営協議会が開催される。学校給食の献立委員会も昨日開催された。

新型コロナウイルス関連については、教育長から説明があったとおり。これで3校とも児童生徒に関係する感染者が出たが、状況の違いによりそれぞれに応じた対応をしている。今回の北小の場合は、感染症リスクがかなり低いことが保健所の助言や家庭からのヒアリングでわかったので、学校は通常通り行った。給食センターの調理員の中にも同居者が接触者となりPCR検査を受けたが、陰性だったと聞いている。

○子育て支援課長報告

教育長の報告にあったように、保育園でも保護者が陽性者と判明し、今週の月曜日に臨時休業としたが、保健所による聞き取りの結果、他にうつす可能性は低いということから、これまでの対応と違い保育園をすぐ再開させている。

また、新型コロナワクチン接種のリハーサルに子育て支援課の保健師が参加しているので、報告させていただく。昨夜、健康福祉課において、村内の医師・看護師・薬剤師が参加し、オンラインで大町病院の薬剤師・看護師等の指導の下、リハーサルを行った。健康福祉課では、今後リハーサルをもとに問題点を洗い出して対応していく方向である。

保育園では2日に入園式を行い、年度始め式は各学年の時間をずらして行った。

○生涯学習スポーツ課報告

4月1日に東京オリンピックの聖火リレーを行った。上村愛子さんや里谷多英さんといったオリンピックにゆかりのある方や公募によるランナーが参加した。沿道の一カ所で外国人がアルコールを飲みながら応援しており、警察が来る場面があったが、無事開催することができた。

○公民館長報告

4月20日に村内の子供会育成会の会長の会を行い、主に共済の手続き等の連絡をした。

23日に公民館運営審議会並びに社会教育委員会を開催した。

27日に分館長会議を開催し、今年度の公民館計画等について協議した。

4 議事

○承認第4号 白馬村立小・中学校の学校運営協議会委員の委嘱について

・令和3年4月1日～令和4年3月31日任期の小・中学校の学校運営協議会委員の委嘱について、教育課長が資料に基づき説明した。あて職である校長やPTA会長が替わっているところは新規で委嘱している。

[教育長職務代理者]

・学校評価委員がこの学校運営協議会委員に替わったのか、それとも新たに学校運営協議会という組織ができたのか。

[教育課長]

・学校関係者評価委員が無くなり、学校運営協議会委員に替わった。

[教育長職務代理者]

・それは国の制度で替わったということか。

[教育課長]

・その通り。

・全員賛成で承認された。

○承認第5号 白馬村小中学校給食献立委員会委員の委嘱について

・令和3年4月1日～令和4年3月31日任期の小中学校給食献立委員会委員の委嘱について、教育課

長補佐兼給食保健係長が資料に基づき説明した。

- ・全員賛成で承認された。

○承認第 6 号 区域外就学について

- ・区域外就学申請者の承諾について、教育係長が資料に基づき説明した。
- ・全員賛成で承認された。

○議案第 29 号 白馬村公民館運営審議会委員の委嘱について

- ・令和 3 年 4 月 28 日～令和 5 年 3 月 31 日任期の白馬村公民館分館長会長の委嘱について、公民館長が資料に基づき説明した。
- ・全員賛成で可決された。

○議案第 30 号 白馬村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

- ・令和 3 年 5 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日任期の白馬村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、教育課長補佐兼給食保健係長が資料に基づき提案した。
- ・全員賛成で可決された。

○議案第 31 号 通級指導教室への通級許可について

- ・通級指導教室への通級の要望があったため、子育て支援課長が資料に基づき説明し、許可を求めた。
- ・賛成多数で可決された。

○議案第 32 号 第三次白馬村図書館基本計画について

- ・生涯学習係長が説明した。前回の教育委員会で基本計画案をお配りしている。計画案についてパブリックコメントの受付を1ヶ月実施したところ、窓口に資料を取りに来た人は何人かいたが意見は無かったので、今回の教育委員会では、案を消していただき計画を確定させていただきたい。今の施設では、規模や予算面等で制約があるが、新しい複合施設の運営を見据えながらできることをやっていくということと、村の基本理念や教育大綱にあることを受けて、一人一人の成長と豊かな暮らしを目指していくという内容になっている。毎年、図書館協議会を開催していくので、運営状況や実際の数値によって見直しをかけながら5年間の運営を行っていきたい。
- ・全員賛成で可決された。

○議案第 33 号 白馬村就学援助費及び特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱について

- ・教育課長が資料に基づき説明した。以前議決された当該要綱の第5条の表の誤りについて改正するもの。支給対象者区分で、2.5 倍以上の収入の世帯の給食費を除外するよう改正する。
- ・全員賛成で可決された。

○議案第 34 号 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費に関する内規の一部改正について

- ・教育課長が資料に基づき説明した。支給単価については別に定めるということで、毎年内規の見直しを行っている。特別支援教育就学奨励費については、支給単価が国の基準が変わったこと等により見直しを行った。就学援助費については、認定基準において、今までの所得制限やその他事情の判定の他に「他の制度を準用する場合」も加えている。天変地災等で被災した者、所得が急激に減少した者等、特殊事情により地方税法や国民健康保健税条例等といった他の制度で既に税金・保険料が減額や猶予されている者については、就学援助費を認定するもの。また、支給単価についても国の国庫補助基準を参考に設定している。新入学用品費のみ国の基準単価約 6 万円に比べて白馬村は約 2 万円とかなり低い。近隣市町村でも国の補助基準に準拠していないのは白馬村だけ。新入学用品費は来年度新入生が対象となるので、財政当局と相談し財源確保ができれば、支給単価を上げていきたい。

[教育長]

制服の費用もあるので、見直しの中で金額を上げたいというのが事務局の説明である。登山・キャンプについては宿泊が伴う場合は支給するが、日帰りの場合は支給しない。

・全員賛成で可決された。

○議案第 35 号 白馬村教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則について

・教育課長が資料に基づき説明した。行政改革の一環で、申請書等の押印廃止は国や村でも進めているが、教育委員会規則に関するものは教育委員会で定める。対象書類を表にまとめて、押印省略できるようにする規則。現在、対象書類の拾い出し作業を進めており、この規則を定めた後に、押印省略できる書類を表で別に定めていく予定。

・全員賛成で可決された。

○議案第 36 号 白馬村教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する要綱について

・教育課長が説明した。上記規則と関連するもので、教育委員会告示で定める要綱も同様に申押印省略について定めるもの。ただ、内部職員の事務に関する訓令については対象にしていないので、あくまでも村民の利便性を図るもの。これにより、今までは押印で本人確認に代えていたが、住基カードや免許証等での本人確認が窓口対応で必要となる。

[委員]

かえって面倒になるのでは困る。押印で良かったのが本人直筆でなくてはいけないということで書類を持ち帰ることにならないか、そのようなことがないようにしてもらいたい。

[教育課長]

押印の義務を廃止するというものなので、押印でも構わない。

・全員賛成で可決された。

5 その他

(1)小谷村教育長、池田町・松川村教育委員会委員の異動について

(2)令和 3 年度公民館社会教育関係事業計画について

・公民館長が資料により説明した。特徴的なものとして 8 月 6 日・7 日開催の「信州伝統芸能フェスティバル」が、オリンピックの文化庁バージョンとして白馬村で行うことになった。昨年延期になった公演で、長野県内の伝統芸能の団体が集まり夜 6 時半から開催する。白馬村からは、八方太鼓、塩の道太鼓、切久保の尾花踊り、飯田の神明社浦安の舞の 4 団体が出場する。

(3)白馬村スポーツ協会年間行事計画について

・生涯学習スポーツ課長が資料により説明した。今年の総会において「体育協会」の名称が「スポーツ協会」に変わった。7 月開催のスノーハーブクロスカントリー大会は昨年引き続き中止。また、例年 6 月の第 1 週に開催していたスポーツ祭が、今年は他の行事との関係で 7 月 11 日に開催する。コロナの影響次第だが、現時点では資料にあるような年間計画を予定している。

[教育長]

冬のスキー大会はやらないのか。

[生涯学習スポーツ課長]

全日本クロスカントリー大会を2月に予定している。スキーの各種記録会は日程がまだ決まっていないので年間計画に記載されていない。

[委員]

スポーツ祭の中学生は無くなったのか？

[生涯学習スポーツ課長]

無くなった。

[教育長]

小学生はドッチボールだったので、内容の検討をしてもらいたい。

(4)白馬村図書館等複合施設住民説明会の状況について

[生涯学習係長]

4月12日夜7時よりウイングにて住民説明会を行った。参加者は50名弱で、説明に30分、質疑応答に90分、合計2時間の説明会でアンケートは30名分集まった。説明の内容は以前のものと同様なので省略させてもらう。アンケート結果によると、候補地の見直しについてどう思うかとの問いに対しては、8割賛成、2割がどちらともいえない、反対が0だった。具体的な内容では、教育委員の皆さんもおっしゃっていたように、候補地が駅になったのはなぜかということや、プロセスの不透明さについての多くの意見があり、オープンに進めてもらいたいという意見も出された。その他には、地域の教育のシンボルとして良い図書館を作ってほしいという意見がある一方で、財源が厳しい中で本当に作れるのか、図書館が今必要かといった意見もあった。また、住民説明会について、もっと色々な日時に行ってほしい、子育て施設を作るのであれば子育てしている人が参加しやすい日時に開催すべきという意見や、オンラインによる実施の提案もあった。今後の進め方については、検討委員会を立ち上げて、図書館と子育て施設とそれ以外について、住民主体でメンバー構成し検討を行っていきたいと考えるが、委員報酬の予算がないので補正で財源を確保してからになる。検討委員会のメンバー構成や公募の人数等について、次回以降この会でお示しのご意見をいただきたい。

[教育課長]

基本計画の見直しについて、具体的にどこへどのような物を建てるか、金額はどのくらいのものにするのか決定したい。よって、年内に決定できない可能性もあるが、ご理解いただきたい。

[委員]

子育て施設は老朽化が進み建設は喫緊の課題であることから、図書館と分離して考えなければいけないとの意見もある。議会でも議論されるであろうが、検討委員会としては、複合施設ありきで検討していくのか、複合施設と図書館を分けて検討するのか、そのスタンスについてどう考えているか。

[教育長]

今の段階では、複合施設の中に図書館と子育て支援施設の建設ということで見直しを考えていく。

[委員]

そうであれば予算的にできない可能性もある。

[委員]

説明会に参加したが、駅になったことで図書館のことが後退してしまった感がある。参加者の意見にもあったように村が破綻してしまうのではないかというのも良くわかる。図書館も子育て施設も必要だが、学校の統合問題も含めて検討した方が良いと思う。教育委員会の施設についてももう少し広い視点で全体的に考えるべきではないか。

[教育長]

検討委員会は別々に設けているが、委員会から答申をもらって決めるのは教育委員会。教育委員会に検討委員会からの意見が集約されるので、教育委員会で決定するときに委員のご意見をいただきたい。

(5)5月の行事について

・5月28日の関東甲信越静岡市町村教委研修会はオンラインでの開催となった。研修は前もってできるので定例会後にオンライン研修を行いたい。

(6)5月の定例会について

5月26日(水)午後2時から 庁議室で行う。

(7)その他

[委員]

白馬高グラウンドの塩の道側にある木の枝が、道路にせり出しているのを切り払ってもらいたい。

[教育課長]

対応する。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	